

グループホームいやし屋本舗

地域密着型サービス自己評価票 (網掛け部分は外部評価も行う調査項目)

取組んでいきたい項目には「1」が入っています。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取組んで いきたい 項目	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
			理念に基づく運営 1～5 (自己 1～24・外部 1～14)	自己評価24項目・外部評価14項目	7	
理念に基づく運営	1 理念の共有	1 理念の共有(自己 1～3・外部 1～2)		自己評価3項目・外部評価2項目	0	
		1 外部評価1	地域密着型サービスとしての理念【外部評価】 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「九人九色の暮らしのサポート」を掲げ、地域推進運営会議などを通して、ケア内容を報告している。	0	同左
		2 外部評価2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し理念の実践に向けて日々取り組んでいる	個別ケアを心掛け、個人の尊重の為のスケジュールに取り組んでいる。	0	同左
	3	家族や地域への理念の浸透【外部評価】 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	ご家族を誘っての誕生会やレクリエーションなどを行ったり、地域の店に利用者様と一緒に買い物へ出掛けては、会話する機会を設けている。	0	同左	
	2	2 地域との支え合い(自己 4～6・外部 3)		自己評価3項目・外部評価1項目	1	
	2 地域との支え合い	4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りてもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	地域推進運営会議を通して、町内の方への訪問の呼びかけや、行事への参加を、お誘いしている。	0	同左
5 外部評価3		地域とのつきあい【外部評価・重点】 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	毎週水曜日に行われている老人会のグランドゴルフに参加したり、町内の運動会や、公民館での文化祭の参加している。	1	外に出ることが好きな方が多いので、参加できる事を見つけたら、積極的に出掛けて、交流を深めたい。	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
理念に基づき運営	2 支地 え域 合と いの	6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所々職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	ミーティング時に話をする事はあるが、施設周辺のゴミ拾いをするくらいである。	0	隣のデイサービスいやしの杜にて、夕方、ピワ温圧灸での治療をしているので、案内は差し上げている。
		3	理念を実践するための制度の理解と活用(自己 7~11・外部 4~7)	自己評価5項目・外部評価4項目	3	
		7 外部 評価 4	評価の意義の理解と活用【外部評価・重点】 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	毎年、目標を持って取り組み、それが出来たかの反省も行い、外部評価も深思に受け止め、改善に取り組んでいる。	0	同左
		8 外部 評価 5	運営推進会議を活かした取り組み【外部評価・重点】 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回会議を行い、施設内の報告や地域の行事等の情報交換を行っている。	1	会議だけでなく、夏祭りやレクリエーションなど、地域の方々に参加していただけるような呼びかけを行う。
		9 外部 評価 6	市町村との連携【外部評価・重点】 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	地域の老人会が行っているグランドゴルフにも、天候や利用者の体調を考慮しながら、参加させてもらっている。	1	これからも大いに外に出て、サービスの質を高めていきたい。
		10 外部 評価 7	権利擁護に関する制度の理解と活用【外部評価・追加】 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	きちんと把握し、青年後見人制度を利用されている利用者の支援にも努めている。(現在M様が成年後見人制度を利用されている。又、以前にも1名利用されていた。)	1	今後は、家族会などを通じて成年後見人制度を紹介していく予定。
		11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待などあってはならぬ事なので、しっかり学び、そのような事がない様、注意している。	0	同左

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
		4	理念を実践するための体制(自己 12~18・外部 8~10)	自己評価7項目・外部評価3項目	0	
理念に基づく運営	4 理念を実践するための体制	12	契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	家族等からの質問がある際は、その都度対応し、理解・納得するまで説明を行っている。	0	同左
		13	運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関の所に意見箱を置いたり、個人より不満や苦情が職員にあがってきた際には、ミーティングにて、改善方法など話し合い、より良い方向へと前向きに、反映させている。	0	同左
		14	家族等への報告【外部評価・重点】 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月の請求書と一緒に金銭管理表や「ホームだより」、職員の異動等を報告し、確認している。又、健康状態に関しては、その都度、キーパーソンへの電話対応中心に行っている。	0	同左
		15	運営に関する家族等意見の反映【外部評価・重点】 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご意見箱を置いたり、2月に初めて家族会を開催。2ヶ月に1回の地域推進運営会議を行い、ご家族の来訪の折には、意見を聞かせていただき、ミーティング等にてスタッフに伝えている。	0	同左
		16	運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	1ヶ月に1回程会議を行ったり、その都度意見を聞き入れる場を設けている。	0	同左
		17	柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	まずは、利用者主体の勤務を作り、その後職員の調整を行っている。	0	同左

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
理念に基づく運営	4 理 念 の 実 践 制 す	18	職員の異動等による影響への配慮【外部評価】 運営者は利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	施設的环境作り及び、スタッフとのコミュニケーションを図り、移動の際の根まわしも行っている。	0	同左
		5	人材の育成と支援(自己 19~24・外部 11~14)	自己評価6項目・外部評価4項目	3	
	5 人 材 の 育 成 と 支 援	19	人権の尊重【外部評価・追加】 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。 また、事業所で働く職員についても、その能力を発揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している	職員は目標をあげ、一人ひとりの仕事に対する方向性を確認しつつ、引き伸ばせるよう、環境整備に心掛けている。	0	同左
		20	人権教育・啓発活動【外部評価・追加】 法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる	定期的な会議や家族会の報告を必ず行っている。利用者様との関わりの中で、なれ合いにならぬように気をつけている。	1	これからも繰り返し、人権教育、啓発運動に取り組んでいきたい。
		21	職員を育てる取り組み【外部評価】 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	スタッフがなるべく平等に研修を受けられる様にシフトを考えて、機会を設けている。	1	職員側からの研修希望も出して、積極的に大いに勉強していきたい。
		22	同業者との交流を通じた向上【外部評価】 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	・毎月、グループホーム青葉との合同レク ・介護予防研究所にてのリハビリ ・いやしの宮前でのハーモニカ&歌の会などを実施している。	1	デイサービスや小規模多機能ホーム、有料老人ホームと合同で運動会や夏祭りを予定している。
		23	職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	交代で昼の休憩を取っている。同グループ内の整骨院を開放して、活用してもらっている。	0	同左

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
	5 と人 支材 援の 育成	24	向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	個々に責任を持たせる仕事を与える事により、向上心を伸ばす。	0	同左
安心と信頼に向けた関係作りと支援 1～2 (自己 25～34・外部 15～16)				自己評価 10 項目・外部評価 2 項目	1	
安心と信頼に向けた関係作りと支援	1 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 (自己 25～28・外部 15)			自己評価 4 項目・外部評価 1 項目	0	
	1 相談から 利用に至る までの関係 づくりと その対応	25	初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	九人それぞれに一对一でのお話を聴く時間を作り、しっかり傾聴している。	0	同左
		26	初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	ご家族のストレスを少しでも軽減できるよう打ち合せを綿密に行う。	0	家族会などに参加してもらい、他の利用者の家族との交流につなげている。
		27	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	利用者及び家族のニーズに合わせ、他の施設及びグループ内の施設と連携を図り、サービスの提供に努めている。	0	同左
		28 外部 評価 15	馴染みながらのサービス利用【外部評価】 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	まずその方にとっての一日は、どのように過ごすのか、及び情報より環境整備を行い、その後、他の利用者との関わりの中で、独自のスケジュールを見つける。	0	同左
	2 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 (自己評価 29～34・外部評価 16)			自己評価 6 項目・外部評価 1 項目	1	
係り と 継続 への 支援	29 外部 評価 16	本人と共に過ごし支えあう関係【外部評価】 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者とのなれ合いにならぬよう気を付けながらも、一緒に喜び、楽しみ、悲しんでいる。	0	同左	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
安心と信頼に向けた関係作りと支援	2 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	30	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	レクリエーションや、家族会、運動会へご家族の参加を促し、一緒に支えあう環境作りを行っている。	0	同左
		31	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	家族のニーズや利用者のニーズを家族との話し合いの中、その環境を作っている。	0	同左
		32	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	個人的にハガキなど送ったり、ホームだよりを活用している。	0	同左
		33	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	誰と誰との関係が良いのか理解し、他との交流の場も作っている。	0	同左
		34	関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	原土井HPに入院となり、退去された方がいらっしゃるが、定期的にお見舞いなど行っている。	1	家族会などにも参加を促す。
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント 1～4 (自己 35～51・外部 17～22)				自己評価17項目・外部評価6項目	6	
	1	一人ひとりの把握(自己 35～37・外部 17)		自己評価3項目・外部評価1項目	1	
	1 の 一 把 人 握 ひ と り	35 外 部 評 価 17	思いや意向の把握【外部評価】 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	一人ひとり、傾聴することにより、気持ちをしっかりと把握する。	1	もっと若い頃の事などを傾聴する事により、回想する場を広げていきたい。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	1 一人ひとりの把握	36	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	センター方式を取り入れる事により、利用者様からだけでなく、ご家族からも情報をいただき、細かいところまで把握する。	0	同左
		37	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	リーダー（E業務）を中心に、引継ぎを密に行い、スタッフ全員が状況把握できるようにしている。又、連絡ノートによる確認も行っている。	0	同左
	2	本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し (自己 38~40・外部 18~19)	自己評価3項目・外部評価2項目	1		
	2 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	38	チームでつくる利用者本位の介護計画【外部評価】 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	半年に一回ケアプランの見直しを行っている。	1	スタッフ皆で、カンファレンスを行い、より良い暮らしができるように介護計画している。
		39	現状に即した介護計画の見直し【外部評価】 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	状況、状態が変化した場合は、その都度、介護計画の見直しを行っている。	0	同左
		40	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人の状況は、24時間細かく記入し、介護計画への取り組みの為に引継ぎノートを利用し、ケア統一へつなげている。	0	
	3	多機能を活かした柔軟な支援(自己 41・外部 20)	自己評価1項目・外部評価1項目	0		
	3 多機能を活かした柔軟な支援	41	事業所の多機能性を活かした支援【外部評価】 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人や家族との話し合いの末、友人に泊ってもらったり、ご家族の旅行の間、相手者への宿泊の場としても提供している。又、娘さんの家への遊びに行く送り迎えも行っている。	0	同左

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	4		本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 (自己 42~51・外部 21~22)	自己評価10項目・外部評価2項目	4	
		42	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	防災訓練など、消防署との連携を図ったり、民生委員にも声掛けを行っている。	1	より良い暮らしを送る為にしっかりと、利用し、協力して支援を続けたい。
	4	43	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネージャーやサービス事業者と話しあい、他のサービスを利用するための支援をしている	医療機関との連携を図り、訪問看護や訪問歯科などを利用している。	0	
		44	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	地域包括支援センターには、地域推進運営会議への案内を出し、来訪出来る時に話し合いを行っている。	1	これからも協働して、より良い暮らしを支援していきたい。
		45	かかりつけ医の受診支援【外部評価】 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	医療機関との連携を図り、2週間に1度往診をお願いしている。	0	同左
		46	認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	2週間に1回の往診は定期的に行い、それ以外のDrが日曜日を中心に一緒に食事したり、往診も行ってもらっている。	0	同左
		47	看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	スタッフの中にも、看護師があり、原土井HPより、2週間おきに、往診を受け、健康管理や状況把握を行っている。	0	同左

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	4	48	早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	原土井HPとの連携により、いつでもそういう場合対応できるように備えている。	0	同左
		49 外部評価 22	重度化や終末期に向けた方針の共有【外部評価】 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	利用者にとって、どういう介護が今一番大事なのかを話し合い、皆で同様の介護に努めている。	0	同左
		50	重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医等とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	医療との連携を図り、施設の特徴に応じて対応している。	1	訪問看護との連携を図り、リハビリなどにも力を入れて行く予定。
		51	住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	以前住まれていた様な部屋と同じようにしたり、本人が大切にしている物に対しては、必ず持ってきたりと、念入りに打ち合わせをして行っている。	1	職員が十分に情報を把握して、同じ方向でのケアに努めていく。
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 1～2 (自己 52～89・外部 23～33)				自己評価38項目・外部評価11項目	7	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1	その人らしい暮らしの支援 (1)～(5) (自己 52～81・外部 23～30)		自己評価30項目・外部評価9項目	6	
		(1)	一人ひとり尊重(自己 52～54・外部 23～24)	自己評価3項目・外部評価2項目	1	
		52 外部評価 23	プライバシーの確保の徹底【外部評価】 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	記録や個人情報には鍵付きの棚に入れている。	1	・言葉使いになれが生じないよう気を付ける。 ・接遇などの講習があれば、積極的に参加する。
53	利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	どのような活動に対してでも、本人へのお伺いを立て、納得したうえで、行動していただく。イベント参加の際、掲示板に出欠を取る。	0	同左		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	54 外部評価 24	日々のその人らしい暮らし【外部評価】 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	外出したいという方がいれば、出来る限りドライブへ行ったり、入浴したいという方がいれば、好きな時間に入浴していただいている。	0	同左
		(2)	その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 (自己 55~60・外部 25~26)	自己評価6項目・外部評価2項目	1	
		55	身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	化粧したい方は自室に道具を置いていて、毎日されている。散髪や染髪を希望された方は、行きつけの理髪店へスタッフ同行で行かれたり、家族同行にて行かれている。	0	同左
		56 外部評価 25	食事を楽しむことのできる支援【外部評価】 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	毎食、利用者とスタッフで食事のつぎ分けをしており、同じテーブルで一緒に食事をしている。月2回、リクエストのあったメニューを利用者と一緒に手作りで行っており、楽しみとなっている。(作って食べよう会)	1	利用者の希望の夕食を今後増やしていきたい。
		57	本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	過剰摂取に気を付けつつ、時には一緒に買い物へ行って、お好みの物を購入して召し上がられることもある。	0	同左
		58	気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のバターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	夏場は特にリハビリパンツの使用は控えて、綿のパンツに尿取りパットを使用し、各個人の排泄リズムに応じてトイレ誘導する事で、失禁を減らすよう心掛けている。また、入眠前にトイレに促すことで失禁を減らしている	0	同左
59 外部評価 26	入浴を楽しむことができる支援【外部評価】 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	基本的には毎日入浴することが出来ており、希望があれば好きな時間に入らせていただいている。声掛けで入る方も、お伺いして納得した上で入られている。	0	同左		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	60	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	コーヒーを召し上がる方には提供し、各自室や少し離れたソファでくつろげる様、個人の時間も大切にしている。一人ひとりの睡眠パターンを把握し、時間帯になれば休んでいただいている。日中の活動を増やし、夜間の安眠に繋げたり、寝つきの悪い方には、フットバスの提供を行っている。	0	同左
		(3)	その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 (自己 61~66・外部 27~28)	自己評価 6 項目・外部評価 2 項目	2	
		61 外部評価 27	役割、楽しみごと、気晴らしの支援【外部評価】 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	園芸、掃除、おしぼり作り、食事準備、ドリル、塗り絵、物作りなど、ご本人の希望のものをされており、役割として習慣化してきており、楽しみにもなっている。	1	マンネリ化しないよう、新しい事の提供。
		62	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	持っていたいという方には、自己管理していただいている（千円前後）が、ほとんどの方が、ご家族の希望により、事務所にて管理している。	0	同左
		63 外部評価 28	日常的な外出支援【外部評価】 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	玄関前を自由に散歩していただいたり、希望があればドライブへ出たり、月 1 回は外出する企画を立て、実行している。	0	同左
		64	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	クルージングランチやグランドゴルフ、図書館や野球観戦、工場見学にタワー見学、お祭り参加など行っている。家族同行での、外出・外泊も実施している。	1	・利用者の行きたいという場所があれば、どんどん行きたい。 ・スタッフ、利用者のご家族と一緒に旅行に行きたい。
		65	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご本人の意向に沿って、電話や手紙等はできる状態にしている。（電話に関しては、ご家族の意向も含め対応）遠くにいるご家族などにも、こちらからお声掛けし、手紙を書いて頂くように促している。（フランスにいる娘様）	0	月 1 回のワークショップでの年賀状や、暑中見舞い作りを行う。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	66	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるように工夫している	時間や場所に縛られず、好きなだけ一緒に過ごせる様になっている。誕生日やイベントの招待状(手作り)をご家族や友人に送り参加を促している。	0	同左	
		(4) 安心と安全を支える支援(自己 67~74・外部 29~30)			自己評価 8 項目・外部評価 2 項目	2	
		67	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	現在まで行った事はなく、転倒防止の観点から、トイレでの棒の設置(立ち上がりの際の前方への転倒防止のため)などの案も出たが、スタッフ間で話し合い検討し、スタッフが付き添う事にして、拘束のない様にした。	0	同左	
		68	鍵をかけないケアの実践【外部評価】 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	離園による行方不明などの危険を理解しつつ、鍵をかける事はせず、ブザーにより外へ出た事を感じできる様にしている。玄関口の見えるリビングには必ず1名のスタッフが要る様に徹底している。	0	同左	
		69	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	スタッフ間で、リーダー(E業務)を中心に、利用者の所在や様子を把握している。プライバシーに関しても、事故等の危険がない限りは、守りつつケアを行っている。夜間は定期的に訪室し、様子を確認している。	0	同左	
		70	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を 律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	誤飲等で危険のある物や、刃物等は、指定の部屋や引き出しに収納し、必要時のみ取り出すようにしている。利用者が使う場合は、スタッフが注意しながら使用していただいている。	0	同左	
71	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	離園防止のため、玄関口にブザーの設置。誤薬防止のため、服薬時スタッフ2名でのダブルチェック。転倒防止の為、必要以上の物を置かない。転倒の恐れのある方の自室に滑り止めマットの設置や、ベッド等の位置の工夫をしている。看護師による、窒息時の対処法の実技指導。食事のキザミ等への対応を行っている	0	同左			

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	72	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	会議等で、起こった事故や起こりうる事故に対し、看護師に対応法を学んでいる。	1	心肺蘇生などの講習に参加する。
		73 外部評価 30	災害対策【外部評価】 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	建物全体で委員会を発足し、定期的に会議を開き、災害時などの対応を話し合っている。又、避難訓練も年2回実施している。	1	消火器の取り扱いなどの講習に参加する。
		74	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	利用者の現状等は包み隠さず、ご家族へ伝え、どのようなケアを行っているかを説明している(ケアプラン)。家族会の開催(薬の服薬説明や本人の状態の報告など)個別に情報が必要なご家族には、FAXにて対応している。	0	同左
		(5)	その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 (自己 75~81・外部 31)	自己評価7項目・外部評価1項目	0	
		75	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎朝バイタルをとり、一人ひとりの平均的な身体の状態を把握できるようにしている。異変等を見つけた場合、早期に看護師、施設長に報告。又、スタッフ間で漏れがない様、申し送りを徹底している。	0	同左
		76	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	看護師が、一人ひとりの服薬一覧表を作成して、現在服薬している薬と何の為の薬かをスタッフ全員が確認できるようにしている。又、スタッフの確認印も押している。	0	同左
		77	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	水分摂取を徹底し、朝・昼・個別リハビリと、毎日運動を行える形にしている。おやつとして、毎日15時にヨーグルトを食べていただいている。便秘が続く方などに関しては、医師へ報告し、適切な下剤等を処方していただいている。	0	同左

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	78	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	朝・昼・夕と毎食後、口腔ケアのお声掛けと介助を行っている。又、義歯は清潔保持と事故防止のため、夕食後にお預かりし、薬による洗浄、保管を行っている。	0	同左
		79	栄養摂取や水分確保の支援【外部評価】 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	体操後や入浴後の水分摂取。本人が求める時はもちろんであるが、それ以外に取ろうとしない人に関しては、ゼリーなどで対応している。	0	同左
		80	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	毎日1回手すりの消毒。 手洗い後、アルコールで消毒。 排泄物の取り扱いはゴム手袋の着用。	0	同左
		81	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	定期的には、布巾やまな板をハイターに浸け込み消毒を行っている。	0	同左
	2	その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)~(2) (自己 82~89・外部 32~33)		自己評価8項目・外部評価2項目	1	
	2 生活の環境づくり	(1) 居心地のよい環境づくり(自己 82~86・外部 32~33)		自己評価5項目・外部評価2項目	1	
		82	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	看板(表札)の設置。 花壇に花を植え、ベンチを設置。 朝の玄関掃除(入居者さんの日課)。	毎 1	月1回利用者に花を生けていただき、玄関を彩る。
		83	居心地のよい共用空間づくり【外部評価】 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	昼間は明るくし、人の集まる場所作りに努める。	0	同左

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	2 その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	84	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ゆったり座れるソファの設置。	0	同左	
		85 外部評価 33	居心地よく過ごせる居室の配慮【外部評価】 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた家具などの持ち込み。 人が安心できる居室作り。	本 0	同左	
		86	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	朝・昼に換気（換気扇備え付け）。 季によって空調管理。 時には、加湿器の設置。	時 冬場 0	同左	
		(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり(自己 87~89)			自己評価3項目	0	
		87	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	手すりの設置。 元の不安定な方へは、滑り止めマットの設置。 転倒防止のための、ベッド等の配置の工夫。	足 0	同左	
		88	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	例えば、トイレがわからない方に関しては、同じトイレを使用したり、名札をつけ案内している。	0	同左	
		89	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	建物の外は、駐車場なので、車の出入りが多い時間帯に外へ出るときは注意する。屋上には庭園があるので、よく利用する。	0	同左	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
サービスの成果に関する項目				取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	該当 番号	
サービスの 成果に 関する 項目	90	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない	1		
	91	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない	1		
	92	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	93	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	2		
	94	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	95	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	96	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らさせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	97	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない	1		
	98	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねてきている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない	3		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいき きたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
サービスの成果に関する項目		99	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない	2	
		100	職員は、生き生きと働いている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない	1	
		101	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1	
		102	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族と 家族等の2/3くらいと 家族等の1/3くらいと ほとんどできていない	2	
サービスの成果に関する項目				取り組みの成果 (該当する箇所を印で囲むこと)	該当番号	

サービスの成果に関する項目の該当番号は、選択肢の該当番号を示します。

番号の上位は自己評価の項目番号を指します。外部評価項目は、番号欄に網掛けをして外部評価と表示し、外部評価の項目番号を下に表記しています。

項目の横の重点は、外部評価の調査結果で重点項目として概要表に記載される項目です。

また追加は、福岡県が国の参考例に自己評価から外部評価に加えたり、新たに自己評価も含めて独自に追加した項目などです。